

ぐるり39

～自治調査会だより～

2025

1

No. 136

[発行日]
2025.1.1



緑豊かな都立府中の森公園の一角にある府中市美術館。お散歩がてらアートに触れられる、最高のステージです。

【写真提供・撮影場所】府中市美術館

Contents 1月の内容

- ▶ オール東京62市区町村共同事業
みどり東京・温暖化防止プロジェクト 市町村の取組紹介 … 2
武蔵村山市 環境学習会
多摩市 住宅用創エネルギー・省エネルギー
機器等導入補助金事業
八丈町 檜立・中之郷・末吉地域花いっぱい
運動推進事業
- ▶ わたげ探偵！！こんな調べてみました！
“富士”がつくまち …… 3
- ▶ 市町村共同事業の取組紹介 …… 4
・アイススケート体験事業
・郷土に根ざす伝統・文化等理解事業
- ▶ 多摩・島しょ 散歩deアート ～府中市～ …… 6



◀ 当調査会のホームページに
バックナンバーも掲載して
います。ぜひご覧ください。



◀ 「TAMA ebooks」にも掲載して
いただいています。「ぐるり」で
検索のうえ、ご覧ください。



公益財団法人

東京市町村自治調査会



オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村の取組紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護と地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対し、助成を行っています。この中から多摩・島しょ地域の市町村で本助成を活用して実施された取組を紹介します。

シーナ



かれん

かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。



Tama

武蔵村山市

1 武蔵村山市 環境学習会

武蔵村山市では、市内在住、在勤、在学の方を対象に、豊かな自然が残っている都立野山北・六道山公園内の里山民家周辺で、昆虫などの動植物を観察し、自然と触れ合う機会にするとともに、自然環境を大切にする気持ちを養うために環境学習会を行っています。

毎年春と秋に、その季節に見ることのできる生きものの採集や植物の観察など、参加した方々は楽しい時間を過ごしています。

また、採集した生きものなどは、環境学習会終了後に元の自然に帰すことも学んでいます。

【問合せ先】武蔵村山市 環境課 TEL 042-565-1111



Tama

多摩市

2 多摩市 住宅用創エネルギー・省エネルギー機器等導入補助金事業

多摩市では、脱炭素社会の実現及び地球温暖化防止に向けた取組を支援する目的で、住宅用太陽光発電システム、蓄電池の導入や、断熱窓改修を行う市民を対象に、本体購入費用及び設置費用の一部を補助する事業を行っています。

2023（令和5）年度は、申請件数が前年と比較し大幅に増え、合計221件の導入によって年間約315t-CO₂の二酸化炭素が削減されたと推計されます。

今後もこの事業を継続し、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロの目標達成を目指します。

【問合せ先】多摩市 環境政策課 TEL 042-338-6831



3 八丈町 檜立・中之郷・末吉地域花いっぱい運動推進事業

八丈町では毎年、花と緑の町づくりの一環で「花いっぱい運動」を実施しています。

八丈島の南側に位置する檜立・中之郷・末吉の3地区では、各自治会が主体となって道路沿いの花壇や街路樹の管理を行っています。色鮮やかな季節の花々は、日々の暮らしに彩りを与えてくれるほか、町民や観光に来た方々の癒しにもなっています。

八丈島は、黒潮の影響により一年を通じて温暖な気候で亜熱帯植物に囲まれた自然豊かな島です。

年間を通じて自然を楽しめる、花と緑の八丈島にぜひお越しください。

【問合せ先】八丈町 産業観光課 TEL 04996-2-1123



Tokyo Islands

八丈町





わたげ探偵!!こんな調べてみました!

◎不定期掲載

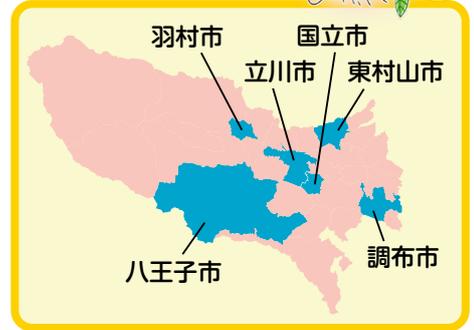
～“富士”がつくまち～

お正月の初夢で最も縁起がよいとされるのが「富士山」!
多摩・島しょ地域でも「富士」と名が付く町名などがあるね。
 今号では、わたげのボクが、そんな場所を紹介するよ。



まずは、「富士見」がつく町名がたくさんあることに気づいたよ。

八王子市富士見町 (JR 北八王子駅の西)、**立川市富士見町** (JR 西立川駅の南東)、**調布市富士見町** (中央自動車道調布IC周辺)、**東村山市富士見町** (東村山中央公園周辺)、**国立市富士見台** (国立市役所周辺)、**羽村市富士見平** (羽村第二中学校周辺)と**6つ**もあるね。
富士山がよく見える場所ということかな。
 実際に見えるか、行ってきたよ。



八王子市富士見町



立川市富士見町



調布市富士見町



国立市富士見台



東村山市富士見町



羽村市富士見平



どの市も建物が増えて、どこからでも富士山が見えるわけではなかったけど、何とか見ることができたよ。各町名は戦後に名づけられたようだけど、由来については今後の宿題。
 次号も「富士」が付く町名を探すよ。

2月号につづく

市町村共同事業の取組紹介

当調査会では、多摩・島しょの魅力を高めるために、複数の市町村で組織する協議会などの活動に対して、東京都市長会と東京都町村会とともに支援しています。

昨年度に支援した活動の中から、各号にわたっていくつか紹介します。

郷土に根ざす伝統・文化等理解事業

瑞穂町と青梅市の子ども（18歳以下）を対象にした感動体験を提供する事業に支援したものです。

東京のだるま、「多摩だるま」をご存知でしょうか。100年以上の歴史があり、もともとは農家が冬の農閑期に副業としてはじめたものといわれています。西多摩地域の瑞穂町では、現在もだるま職人さんたちがその技術を継承し続けています。



この伝統・文化である「多摩だるま」の制作体験を行うことで、普段生活している郷土について深く学び、地域の伝統文化を大切にしようという思いや地域を愛する心を育むことを目的に実施しているのがこの事業です。

西多摩地域の青梅市と瑞穂町とが共同して6月の土曜日に実施し、学区域を超えた約70人の子どもたちが参加しました。

当日は、瑞穂町にあるだるま制作工房で職人さんから直接説明や指南を受け、多摩だるまの顔部分の絵付け体験を行いました。

絵付け体験の後には、工房の人たちに作り方のことや伝統工芸に携わることのやりがいについてなど、気軽に質問ができる場が設けられ、子どもたちは熱心に話を聞いていました。

また、多くの子どもたちから「体験してよかった」との感想があり、皆の心に残る事業だったことが伺えます。

地域への愛着が深まるばかりか、次代に伝統文化を受け継いでいく後継者が育っていくことを願います。

今後は、「多摩だるま」以外の郷土の伝統文化についても発信するなど、多くの子どもたちに地域のことをさらに知ってもらえる事業に発展していくことが期待されます。



みずほまる ▶

多摩だるまとホンダタヌキを合わせた愛らしいフォルムの瑞穂町公式キャラクター。



アイススケート体験事業

4市（東大和市、立川市、昭島市、武蔵村山市）の子ども（18歳以下）を対象にした感動体験を提供する事業に支援したものです。

西武線東大和市駅前にある「東大和スケートセンター」で、東大和市、立川市、昭島市、武蔵村山市の4市合同の「アイススケート体験事業」が実施されました。まだまだ残暑が残る9月の土曜日、3週に渡って行った教室は、300人を超える参加がありました。

この事業は、アイススケート初心者の子どもたちに、日ごろ接する機会のないアイススケートを体験する場を提供することで、アイススケートだけでなくスポーツ自体への関心を引いたり、スポーツ以外にも様々なことへのやる気を高めたりすることを目的としたものです。



教室は小学校低学年と高学年の2クラスに分けられ、スケート靴を履く基本的なことから、氷上での足踏み、片足滑走などを楽しく学び、アイススケートを身近に感じられるような工夫がされていました。また、スペシャルゲストとしてプロフィギュアスケーターの織田信成さんに出演していただいたり、インストラクターに女子アイスホッケーチーム（SEIBUプリンセスラビッツ）の選手をお呼びしたり、一流の技術も間近に見ることができる場となっており、子どもたちにとっては、日常では触れられない貴重な体験となったのではないのでしょうか。

参加した子どもたちからは、「またアイススケートをしたい」、「最初は怖かったけど、滑れるようになって嬉しかった」という声や、「他のスポーツにも取り組んでみたい」という意見もあり、教室を精一杯楽しんだことが伺えます。

多摩地域のスケート場で実施されるこの感動体験事業が、今後も引き続き実施されることが期待されます。





散歩で訪ねたい身近な芸術・文化スポットのプチ情報をお届け！
今回はわたげのボクが「府中市美術館」を紹介するよ。

府中市美術館



2000（平成12）年に開館した府中市美術館。江戸時代の絵画から、現在活躍中の作家の作品、ときには親子で楽しめる企画まで、ユニークな展覧会を開催しているよ。

また、府中をはじめとする多摩地域の美術、日本の近代絵画などをコレクションしていて、その数はおよそ2,400点もあるんだって✨
作品は常設展示室で見ることができるよ。

並木道をとらえたこの作品もコレクションの一つ。本多錦吉郎が1898（明治31）年に描いた《景色》という油絵だよ。

じつはこの作品の舞台になったのは、府中を代表するスポット「馬場大門のケヤキ並木」なんだ。今では周囲にビルが立ち並んでいるけど、明治時代はこんなのかな景色が広がっていたんだね。



▲作者：本多錦吉郎 作品：景色

美術館の外にもアートがいっぱいあるよ。これは正面玄関前わかはやしいさむにある若林奮の《地下のデイジー》。この赤茶けた鉄板が地下3メートルの深さまである作品なんだって！この他にも、府中市内にはたくさんの屋外彫刻があるから散歩がてら探してみてね。



作者：若林奮 作品：地下のデイジー▶



【基本情報】

府中市浅間町1-3(都立府中の森公園内)

- ・入館料：コレクション展(常設展示室) 一般200円※企画展は別料金
- ・開館時間：10:00～17:00(展示室への入場は16:30まで)
- ・休館日：毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)、年末年始、展示替え期間など

【アクセス】

- ・京王線東府中駅から徒歩17分
- ・京王線府中駅からちゅうバス多磨町行き「府中市美術館」下車すぐ

◆情報・写真提供 府中市美術館 TEL 042-336-3371



本紙についてのご意見・ご要望は、ホームページの問合せフォームからお寄せください。 問合せフォーム▼

